

# 社会資本総合整備計画書

(千葉県)

千葉県における津波対策及び土砂災害対策  
計画(復興基本方針関連(復興))

事後評価

令和6年3月21日

(参考) 社会資本総合整備計画 事後評価書

令和6年3月21日

計画の名称	1 千葉県における津波対策及び土砂災害対策計画（復興基本方針関連（復興））																										
計画の期間	平成23年度～平成27年度（5年間）					交付対象	千葉県																				
計画の目標	千葉県の外房・九十九里海岸では、東北地方太平洋沖地震に伴い発生した津波が海岸の護岸や河川の堤防を越え、死者15名、建物の全・半壊、床上浸水を合わせ約2,500棟に上った。 また、この地震に伴い、対策が未着手の地すべり防止区域においても、避難路の確保の観点から土砂災害対策の緊急性が高まった。 これらのことから、海岸や河川における津波対策、地すべり防止区域についての土砂災害対策を実施することにより、災害に強い県づくりを進めるとともに、安全・安心な県民生活の確保を図る。																										
計画の成果目標（定量的指標）	・九十九里沿岸において、レベル1相当の津波を対象とした場合の床上浸水（最大浸水深≧45cm）想定面積1,479haのうち、施設整備により1,054haの浸水防護を図る。 ・土砂災害から人家や県道等を保全するため、土砂災害防止施設の整備や改築等を推進する。																										
定量的指標の定義及び算定式	<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">定量的指標の現況値及び目標値</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>当初現況値 (H23)</th> <th>中間目標値 (H25末)</th> <th>最終目標値 (H27末)</th> </tr> <tr> <td>① 施設が完成した背後地の床上浸水防護面積を算出する。 (浸水防護面積は全体計画の施設数量と実績数量との比例として算出)</td> <td>0 ha</td> <td>637.552 ha</td> <td>1053.5 ha</td> <td rowspan="2"></td> </tr> <tr> <td>② 県内において土砂災害による被害の恐れから保全される人家戸数、県道や市町村道延長</td> <td>戸 km</td> <td>戸 km</td> <td>2 戸 0.1 km</td> </tr> </table>											定量的指標の現況値及び目標値			備考	当初現況値 (H23)	中間目標値 (H25末)	最終目標値 (H27末)	① 施設が完成した背後地の床上浸水防護面積を算出する。 (浸水防護面積は全体計画の施設数量と実績数量との比例として算出)	0 ha	637.552 ha	1053.5 ha		② 県内において土砂災害による被害の恐れから保全される人家戸数、県道や市町村道延長	戸 km	戸 km	2 戸 0.1 km
	定量的指標の現況値及び目標値			備考																							
	当初現況値 (H23)	中間目標値 (H25末)	最終目標値 (H27末)																								
① 施設が完成した背後地の床上浸水防護面積を算出する。 (浸水防護面積は全体計画の施設数量と実績数量との比例として算出)	0 ha	637.552 ha	1053.5 ha																								
② 県内において土砂災害による被害の恐れから保全される人家戸数、県道や市町村道延長	戸 km	戸 km	2 戸 0.1 km																								
全体事業費	合計 (A+B+C)	21,514 百万円	A	21,514 百万円	B	0 百万円	C	0 百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	0.0%																	

○事後評価（中間評価）の実施体制、実施時期

事後評価（中間評価）の実施体制	事後評価（中間評価）の実施時期
計画策定主体の千葉県が独自で実施。（※学識経験者等の第三者の意見は求めている。）	令和6年3月
	公表の方法
	千葉県ホームページに掲載。

1. 交付対象事業の進捗状況

交付対象事業													全体事業費 (百万円)	備考			
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	事業及び施設種別	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）						
											H23	H24			H25	H26	H27
1-A1-1	海岸	一般	千葉県	直接	千葉県	高潮	—	飯岡海岸高潮対策事業	堤防工	旭市						2,611	
1-A1-2	海岸	一般	千葉県	直接	千葉県	高潮	—	北九十九里海岸～一宮海岸高潮対策事業	開口部対策、堤防工	旭市～一宮町						8,392	
1-A1-3	河川	一般	千葉県	直接	千葉県	広域河川2	改修	新川広域河川改修事業	築堤（L=1.20km）	匝瑳市						1,285	
1-A1-4	河川	一般	千葉県	直接	千葉県	広域河川2	改修	栗山川広域河川改修事業	築堤（L=1.30km）	山武郡横芝光町						658	H26年度完了
1-A1-5	河川	一般	千葉県	直接	千葉県	広域河川2	改修	木戸川広域河川改修事業	築堤（L=1.80km）	山武市						1,825	
1-A1-6	河川	一般	千葉県	直接	千葉県	流対河川2	改修	南白亀川流域治水対策河川事業	築堤（L=2.50km）	長生郡白子町						2,809	
1-A1-7	河川	一般	千葉県	直接	千葉県	流対河川2	改修	一宮川流域治水対策河川事業	築堤（L=2.50km）	長生郡一宮町外						1,818	
1-A1-8	地すべり	一般	千葉県	直接	千葉県	地すべり	—	地すべり対策事業 大井地区	地下水排除工	南房総市				■■■■■■■■■■		69	H26年度から防災・安全交付金へ移行
1-A1-9	河川	一般	千葉県	直接	千葉県	広域系2	改修	九十九里河川圏域総合流域防災事業（真亀川）	築堤（L=1.40km）	山武郡九十九里町						1,012	
1-A1-10	河川	一般	千葉県	直接	千葉県	流対河川2	改修	作田川流域治水対策河川事業	築堤（L=1.70km）	山武郡九十九里町						1,035	
											合計	21,514					

B 関連社会資本整備事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	備考
										H23	H24	H25	H26	H27		
合計																
番号	一体的に実施することにより期待される効果														備考	
C 効果促進事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	備考
										H23	H24	H25	H26	H27		
合計													0			
番号	一体的に実施することにより期待される効果														備考	

※交付対象事業については、できるだけ個別路線ごとに記載すること。

## 2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況

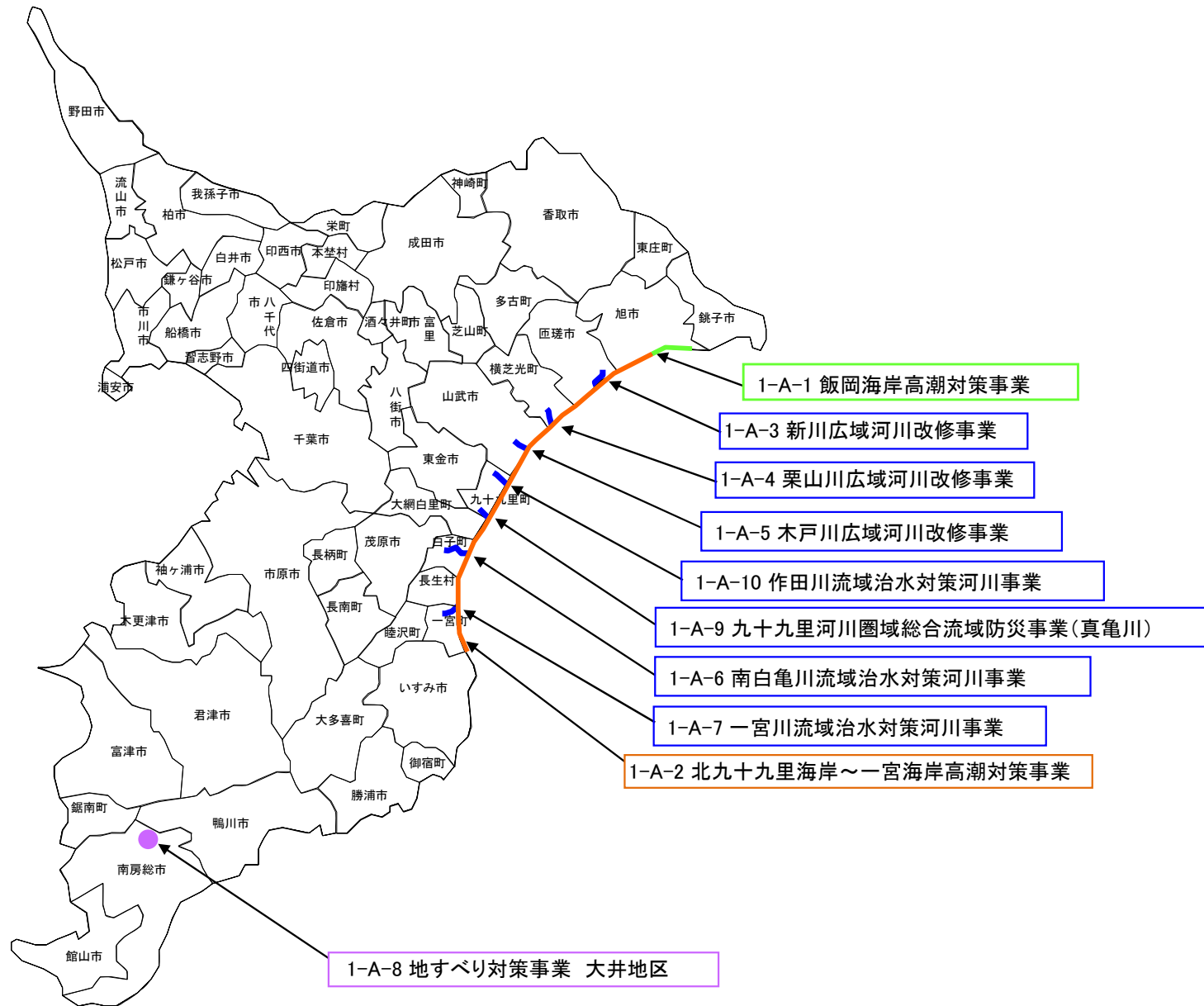
I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		・九十九里沿岸において、施設整備により浸水防護を図ることができた。														
II 定量的指標の達成状況	指標①（背後地の床上浸水防護面積数）		1,054ha		北九十九里海岸～一宮海岸高潮対策事業において、平成27年の台風16号で予期しなかった大規模な浜崖が発生するなど海岸状況に変化が生じており、それに対応した堤防前面の一部被覆等、計画の見直しが必要となったため  (他事業（地すべり対策事業）に移行。)											
			367ha													
	指標②（土砂災害による被害の恐れから保全される人家戸数、県道や市町村道延長）		2戸、0.1km													
			0戸、0km													
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)																

## 3. 特記事項（今後の方針等）

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

# 社会資本総合整備計画

計画の名称	1 千葉県における津波対策及び土砂災害対策計画（復興基本方針関連（復興））		
計画の期間	平成23年度 ～ 平成27年度（5年間）	交付対象	千葉県



# 社会資本整備総合交付金チェックシート

計画書: \_\_\_\_\_ 分野: 2 \_\_\_\_\_

計画の名称: 千葉県における津波対策及び土砂災害対策計画(復興基本方針関連(復興)) 事業主体名: 千葉県

チェック欄

I. 目標の妥当性	
①上位計画等との整合性	
上位計画等と整合が図られている。(計画名)千葉東沿岸海岸保全基本計画等	○
②地域の課題への対応	
地域の課題を踏まえて整備計画の目標が設定されている。	○
II. 計画の効果・効率性	
①整備計画の目標と定量的指標の整合性	
計画の目標と定量的指標の整合が図られている。	○
②定量的指標の明瞭性	
定量的指標については市民にとって分かりやすいものとなっている。	○
③目標と事業内容の整合性等	
目標と事業内容の整合が図られている。	○
④事業の効果	
十分な事業効果が確認されている。	○
事業連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	○
III. 整備計画の実現可能性	
⑤円滑な事業執行の環境	
住民等との合意形成により事業実施の確実性がある。	○
⑥地元の機運	
住民や関係市町村による要望活動等もあり、事業実施に向けた機運の高まりを確認している。	○